


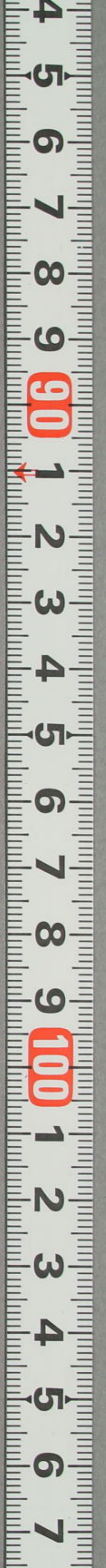
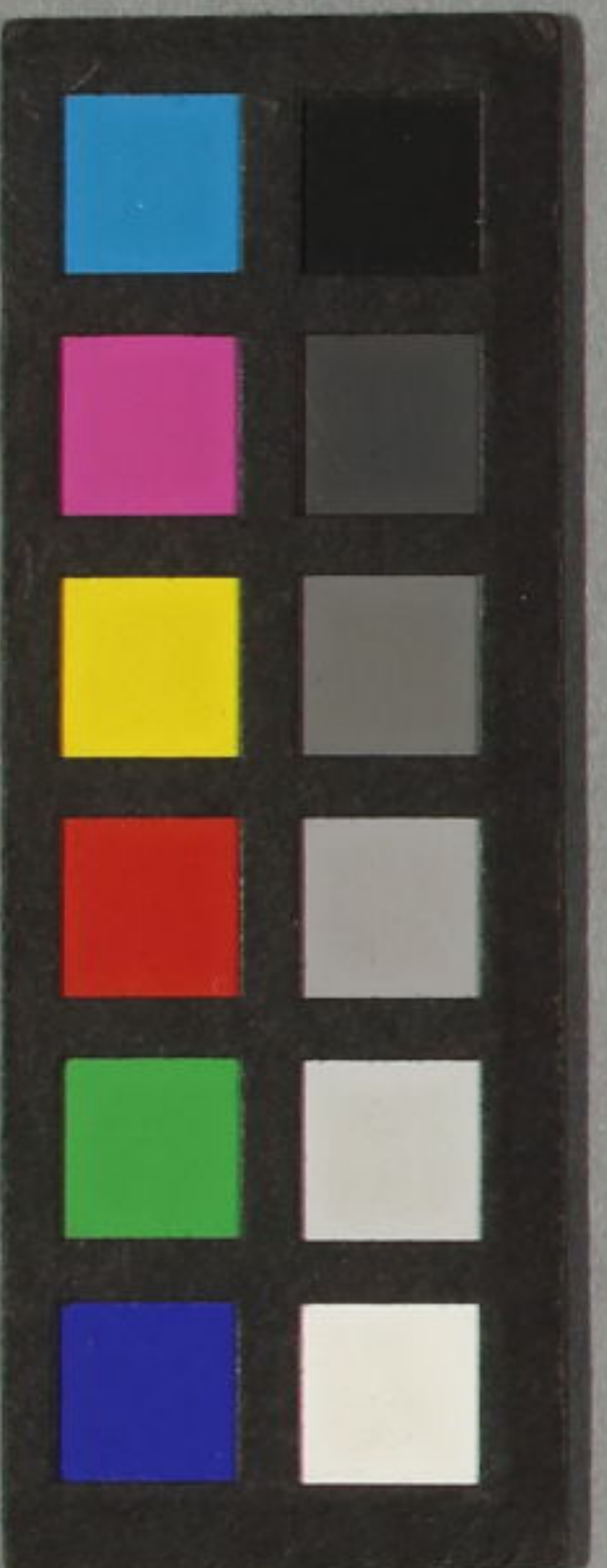


白木


眼をさきり一耳を清く初
 美 詩 歌
 萬丈や金にへさきぬ言
 左 半
 衣の巻やさききききき
 三子
 梅をさききききききき
 味
 鳥のあやうききききき
 味
 下戸らききききききき
 崔 叔 西
 初事風や春もあき雪の
 梨 歌
 雪のきききききききき
 白 雁
 蕨入りのきききききき
 山 務 文
 初事風ハ初事ハ初事ハ
 梅 重
 さききききききききき
 南 瑞
 影のきききききききき
 南 野

西 巖 旦

西 巖 旦



第九卷

第九

